

クラウド環境向けのセキュリティソリューションとして 「Trend Micro Deep Security™」の監視サービスを提供開始

日立システムズとトレンドマイクロとのクラウドセキュリティ分野での協業による連携サービスの第一弾

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:高橋 直也、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)とトレンドマイクロ株式会社(代表取締役社長 兼 CEO:エバ・チェン、本社:東京都渋谷区/以下、トレンドマイクロ)は、クラウド環境向けのセキュリティ対策の分野での協業に基づき、トレンドマイクロの総合サーバセキュリティ対策製品「Trend Micro Deep Security」をリモートで運用、監視するサービスを本日から日立システムズが提供開始することを発表します。

近年、企業における IT システムは PaaS、IaaS 等のパブリッククラウドサービス(日立システムズのリソースオンデマンドサービスや他社クラウドサービス)とプライベートクラウドを組み合わせるハイブリッドクラウドを選択する企業が増えてきており、システムの効率化は目覚しく向上しています。しかしハイブリッドクラウド環境におけるセキュリティ対策は、オンプレミス環境と比較し IT システムが分散することになるため、全ての IT システムに対し、均一的にセキュリティ対策を行うことは困難です。さらに、サーバのセキュリティのせい弱性を狙った Web ページの改ざんなど社会的な影響の大きい攻撃が多発しているほか、攻撃の手法も巧妙化しており企業のセキュリティ対策に対する課題や負担は大きくなってきています。

このような背景を踏まえ、日立システムズとトレンドマイクロはクラウドセキュリティの分野で協業しました。今後、日立システムズが長年培ったセキュリティやクラウドソリューションの実績と、先進的なセキュリティベンダーであるトレンドマイクロの知見を組み合わせ、ハイブリッドクラウド環境におけるセキュリティ対策に有効なソリューションを順次提供していきます。協業に基づく取り組みの第一弾として、日立システムズのセキュリティソリューション「SHIELD(シールド)」のラインアップの一つである「SHIELD セキュリティデバイス監視サービス」のサービス対象に、ホスト型総合サーバセキュリティ対策製品であるトレンドマイクロの「Trend Micro Deep Security」を追加し、本日から提供開始します。

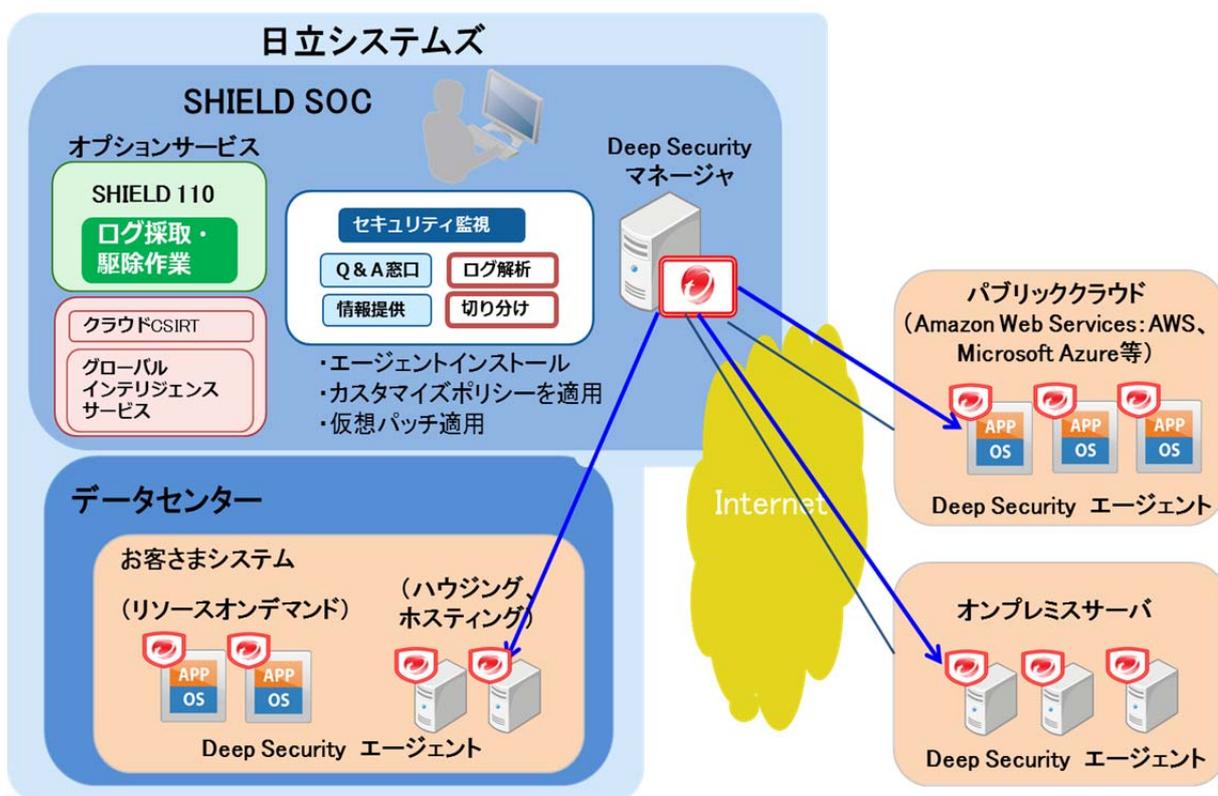
「SHIELD セキュリティデバイス監視サービス」は、お客さまの IT システム上にあるセキュリティデバイス(ファイアウォール、IPS 等)を日立システムズの SOC(Security Operation Center)からリモートで運用、監視するサービスです。

「Trend Micro Deep Security」は、サーバ上の OS やアプリケーションのせい弱性(セキュリティホール)を突く攻撃パケットを検知し、防御する機能(仮想パッチ*1)を提供する製品であり、仮想・クラウド・物理のそれぞれに IT システムが分散した環境でも導入できます。この「Trend Micro Deep Security」を SOC からリモートで運用、監視することで、分散された IT システムのセキュリティ対策として均一的なポリシーの適用が可能となり、分散した IT システムにおいてもホスト型で強固なセキュリティを保つ事が可能となります。また、万一、お客さまで対処できないような事象・セキュリティリスクが発生した場合、SOC のセキュリティアナリストや緊急対応チームによるセキュリティ対策サービス(「SHIELD110」、有償オプション)も提供可能です。

日立システムズでは、「Trend Micro Deep Security」に対応した「SHIELD セキュリティデバイス監視サービス」をクラウド利用者向けソリューションとして積極的に拡販し、2015年度末までに1,000社への導入をめざします。また、今後さらに、セキュリティログ監視やウイルス対策など「Trend Micro Deep Security」のさまざまな機能や、標的型サイバー攻撃対策に有効な「Deep Discovery」など、トレンドマイクロのセキュリティ対策製品と連携したサービスを順次提供していく予定です。

*1 仮想パッチ機能：脆弱性を狙う攻撃コードをネットワークレベルでブロックする機能。あたかも(仮想的に)セキュリティパッチが当たっているのと同じ状態を作り出すことから「仮想パッチ」と呼ばれています。

■「SHIELD セキュリティデバイス監視サービス」の概要図



■価格(税別)

初期費用:個別見積り、月額費用:1万4千円～

■「SHIELD セキュリティデバイス監視サービス」の Web サイト

<http://www.hitachi-systems.com/solution/s002/shield/security-device.html>

■「セキュリティソリューション SHIELD」について

日立システムズは、お客さまの情報資産を守るため、セキュリティ導入時のコンサルテーションからシステムの構築、運用までセキュリティに精通したエンジニアがワンストップでお応えするセキュリティソリューション「SHIELD」を提供しています。また、「SHIELD」では、Security Operation Center(SOC)を活用し24時間365日のセキュリティ運用・監視サービスを提供しています。

<http://www.hitachi-systems.com/solution/t01/shield/index.html>

■ 「Trend Micro Deep Security」について

Trend Micro Deep Security は、物理・仮想・クラウドのそれぞれの環境におけるセキュリティ課題を解決する、総合サーバセキュリティ対策製品です。サーバセキュリティに必要な、ウイルス対策、ファイアウォールやIDS/IPS(仮想パッチ)、ファイルやレジストリの変更監視、セキュリティログ監視の機能を、一つの製品で実装します。詳細は、下記をご確認ください。

<http://www.trendmicro.co.jp/business/products/tmds/>

■ 日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い業務システムの設計・構築サービス、強固なデータセンター基盤を活用したアウトソーシングサービス、全国約300か所のサービス拠点とコンタクトセンターによるお客さまに密着した高品質な運用・保守サービスを強みとするITサービス企業です。日本のIT黎明期から先駆的に取り組んできたITサービスの実績・ノウハウを生かし、システムのコンサルティングから構築、導入、運用、保守まで、ITのライフサイクル全領域をカバーするワンストップサービスを提供しています。そして、ITの枠組みを超えてお客さまに新たな価値を創造し、お客さまからすべてを任せいただけるグローバルサービスカンパニーをめざしています。

詳細は <http://www.hitachi-systems.com> をご覧ください。

■トレンドマイクロについて

トレンドマイクロ株式会社は、より安全な情報社会とお客様の未来を創造する、インターネットセキュリティのグローバルリーダー企業です。最先端の技術を駆使した革新的なセキュリティ対策製品を通じて、お客さまの情報資産を守ります。実装や管理がシンプルで、お客さまの個々の環境にフィットしたソリューションを通じ、スマートな情報保護を実現します。

詳細は <http://www.trendmicro.co.jp> をご覧ください。

■お客さまからのお問い合わせ先

株式会社日立システムズ

商品お問い合わせ窓口:TEL 0120-346-401(受付時間:9時~17時/土・日・祝日は除く)

お問い合わせWebフォーム:<https://www.hitachi-systems.com/d-inquiry/contact.cgi>

■報道機関のお問い合わせ先

株式会社日立システムズ CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 杉山、住川

〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目2番1号

TEL:03-5435-5002(直通) E-mail : press.we@ml.hitachi-systems.com

以上

*本リリースに記載された内容は2014年8月5日現在の情報をもとに作成されたものです。今後、価格の変更、仕様の変更、バージョンアップ等により、内容の全部もしくは一部に変更が生じる可能性があります。

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

*TREND MICRO、Trend Micro Deep Security、Deep Security、およびDeep Discoveryは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

*Amazon Web Services は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

*Microsoft Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

*SHIELD は、株式会社日立システムズの登録商標です。